



PROFILE ▶よしだ・やすひこ
 大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員教授。国連・核拡散問題・朝鮮半島研究。1936年生まれ。1982年国連職員に。1986年から3年間、IAEA(国際原子力機関)広報部長。著書『動き出した朝鮮半島』『国連改革』『21世紀の平和学』『北朝鮮核実験』に続くもの』『どうするプルトニウム』(共著)など

Interview

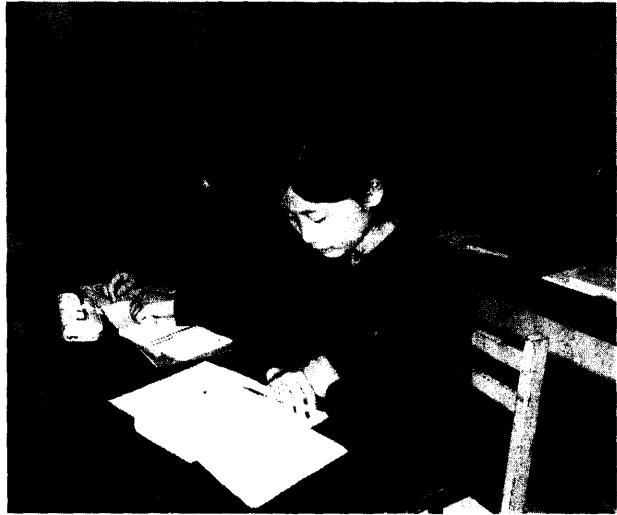
北京の6カ国協議の合意に基づいて北朝鮮は寧辺(ニョンビョン)核施設を稼働停止することになった。一方で日朝交渉は進展していない。4月4日から11日まで北朝鮮を訪問した元IAEA(国際原子力機関)広報部長・吉田康彦さんに最新の現地情報を聞いた。
 (写真提供: 吉田康彦)

日本語学科の希望者が激減

◆今回の訪朝は人道援助が目的だと聞きました。

私は1994年に初めて北朝鮮を訪問しました。以降、北朝鮮人道支援の会を立ち上げ、民間レベルでの援助を続けています。今回の訪問は8回目です。前回は2005年5月、竜川列車事故の被災者に医薬品を届けるために訪朝しました。その時、平壤外国語大学日本語学科を訪れたのですが、教材となる日本語の本がなく、満足に勉強ができない状態でした。そのため日本の小説や辞典など150冊の図書類を持参し、寄贈することにしたのです。

平壤外国語大学には現在4つ



日本語を学ぶ平壤外国語大学日本語科の学生(授業風景)

の学部があります。英語学部、中国語学部、ロシア語学部、民族語学部です。この4つの学

今回、日本語科の5人の学生と話しました。彼らは、日朝関係の進展を願って「外交官にな

吉田康彦

Yoshida Yasuhiko

1990年に金丸・田辺訪朝団が日朝国交正常化の道筋をつけてから正常化実現への期待が高まり、日本語学習を希望する学生が急増します。その後毎年200人前後が入学するようになったので、1999年に民族語学部内にあった日本語科が学部へと昇格したのです。しかし日朝関係の悪化に伴って志願者が激減し、今年の4月から再び学科に格下げとなったわけ

資本の流入で活気づく北朝鮮経済 拉致問題で行き詰まる安倍外交



▲平壤ホテル内のレストラン「アリラン」のウェイトレス。背後の棚には世界各国の銘酒が並んでいる



▲平壤郊外のテガン共同農場の保育園。屋根には日本のNGOが寄贈した太陽光発電のパネルが取り付けられている

があふれていました。喫タバコ、石鹸などの日用品や衣類、食料品など。野菜も豊富で、米も自由販売している。中国製の靴や背広、テレビ、電気洗濯機も売っています。日本製のビデオカメラ、デジカメ、電卓やセイコー、シチズンなどの腕時計もありました。中国製の偽物かもしれませんが、少し高級なものは皆日本商品です。

昨年、北朝鮮がミサイルを発射し、核実験を行った後、安保理決議が採択されて、大量破壊兵器関連物資と贅沢品の禁輸が発動されました。禁輸対象となった贅沢品には、ステークやマグロのトロ、ロレックス、高級ワインなどが含まれていました。

しかし平壤のホテルの外貨ショップ、スーパー、デパートには世界中の酒が置いてあります。街中のレストランに入ってビールを注文すれば、ウェイトレスが「キリンにしますか。アサヒにしますか。サッポロにしますか」と聞いてくる。物資は豊富です。いくら日本が経済制裁しても日本製品は中国経由で入ってくるのです。日本の制裁は全く効いていません。困っているのは送りや差し入れができない在日朝鮮人です。

また北朝鮮ではユーロリッチといわれる成金が生まれています。我々高麗ホテルに泊まったのですが、以前は外国人以外で高級ホテルに入るのは、党と政府の幹部・エリートなどごく一部でした。今はかなり多くの人が出入りしています。ホテル内は全部ユーロで取引されていますが、党幹部や軍人が、屋敷に10ユーロぐらい払っていました。1ユーロは約160円です。ちなみに一般の労働者の賃金は日本円で6000〜7000円です。

ユーロリッチがいる一方、農村はあいかかわらず貧困です。ちょうど滞在中に開催した最高人民会議(国会に相当)の最優先課題は経済再建でしたが、北朝鮮にとっても貧富の格差をなくすことが最大の懸案になっています。

物があふれる自由市場

◆北朝鮮の経済状態はどうなっていますか。

全体の印象として、暮らしぶりは向上していると感じました。1週間の滞在中、停電は一度もなかった。人々の身なりもそれなりに小きれいです。焼き栗やお菓子などの露天商もある。レストランも賑わっています。中国製の日用品が売っています。安くて手に入ります。

平壤市内にある自由市場にも行きました。市場内部は撮影禁止ですが、中にはあらゆる物資



開城工業団地で働く北朝鮮の労働者(時計の部品組み立て)

韓国資本による工業団地建設

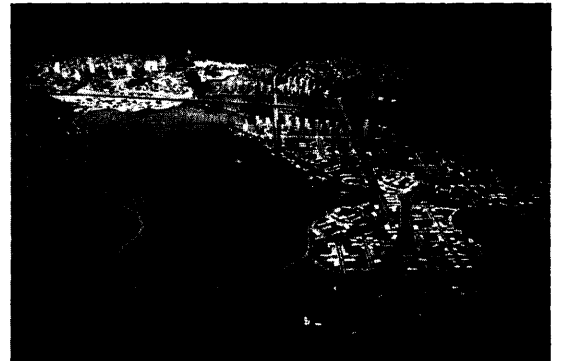
◆中国や韓国の資本が北朝鮮に進出しています。

今、開城(ケソン)では韓国資本が進出して一大工業団地をつくらせています。私たちも見

Interview



▲開城工業団地の敷地の一部。続々と工場建設が進んでいる



開城工業団地の完成時の鳥瞰図（模型）

学に行きました。開城は軍事境界線の板門店に近い古都高麗王朝の首都でした。その郊外にある工業団地の予定地は2000万坪、東京ドーム50個分の広さです。

1998年、南北協力の一環として鄭周永（チョン・ジュヨン）現代グループ会長が牛を500頭つれて北朝鮮を訪問し、進出の許可をもらったのが開城工業団地の始まりです。金大中大統領の南北首脳会談のあと、正式に政府間協定を結び、2003年12月にオープン。今は韓国の「現代グループ」が中心となって、韓国の中小企業300社が台所用品、タツ、衣

類、クスリ、などの軽工業製品を作っています。

2012年の完成時には北朝鮮労働者10万人を雇用し、韓国のソウルからバスで3万人の韓国人労働者・技術者・管理者が通勤して働く予定だと聞きました。

韓国は国際市場において日本と中国にサンドウィッチのように挟まれています。技術水準は日本のほうが高く、労働は中国が安い。安い中国品と高級品の日本との間で特徴を打ち出すことを考えなければなりません。そこで北朝鮮の労働者を使うことを思いついたわけです。

北朝鮮の労働者の賃金は、平均してドル換算で70ドル。韓国で同じ仕事をさせると3000ドルの賃金になり、かなりのコストダウンになります。しかも同じ民族で言葉は同じですから、通訳もいらない。

工業団地では日用品のほかに腕時計も作っていました。韓国のセイコーといわれる代表的な時計メーカー「ロマンソン」が

進出して、900人ほどの北朝鮮労働者を雇用し製造し始めたのです。現代峨山（現代グループ企業）の代表は、「時計の組み立てから精密機械をさらに増やして、将来はIT産業を育て、開城を北東アジアのシリコンバレーにする」との抱負を語っていました。

北朝鮮は必ず核を廃棄する

◆6カ国協議で合意した北朝鮮の核施設停止時期が遅れています。

確かに北朝鮮の核廃棄スケジュールは遅れています。しかし6カ国協議での合意は崩壊しません。必ず実現します。「北朝鮮はまた騙すのだから」と先入観で見ているはいけません。核施設停止にあたって、北朝鮮がBDA（バンコクテルタアジア）の口座凍結解除にこだわるのは理由があるからです。

2004年の第4回6カ国協議で「9・19共同声明」が出されました。共同声明には、「約束対約束、行動対行動の同時行動の原則に従って、5カ国側は北朝鮮を支援し、北朝鮮は朝鮮半島の非核化に応じる」と誓っています。

かつてプッシュ政権は北朝鮮に対し、核の一方的な廃棄を求めていました。CVID（Complete Verifiable and Irreversible Dismantlement）完全な検証可能な逆戻りできない廃棄のことです。プッシュ政権はCVIDができれば交渉しないと言っていたのです。そのプッ

シュ政権が「期目になってCVIDを言わなくなり、米朝直接交渉が始まり、共同声明へとつながります。

共同声明にはエネルギー、経済支援も入っています。米朝は北朝鮮の要求するものを与えると同時に核廃棄の要求を貫徹する。米朝相互が譲歩し、核廃棄のプロセスを段階的に実現していくという同時行動の原則を確認したのです。

ところが共同声明を出す3日前の9月16日、米国はBDAへの金融制裁を行います。ネオコンの主張を入れて、米財務省が国内法の適用として発表したのです。

北朝鮮は怒りました。共同声明の作業をしている真最中に金融制裁を行うとは、米国は本当に交渉する気があるのかということ。そこで北朝鮮は米国に対し、「核の廃棄を我々に要求するのならば金融制裁を解除せよ」と要求したのでした。

北朝鮮の要求を分かっていたのはコンドリーザ・ライス國務長官です。イラクでは米兵が開戦以来3500人も死亡し、内戦状態です。世界を見渡してみればジョージ・ブッシュの花道を飾れるようなものは朝鮮半島の非核化しかない。

ライスは、まずプッシュ大統領に「ネオコンを全部片付けてくれ」と頼みました。結果、ラムズフェルト国防長官、ロバート・ジョゼフ國務次官、ホルトン國連大使らのネオコンが一斉に退陣させられます。ネオコンの親玉チェイニー副大統領は、自分の友人をあやまってライフルで撃つたり、自分の補佐官が偽証罪で告訴されるなど一時は、どの影響もありません。

ネオコンは北朝鮮に武力行使する前段階として金融制裁を考えていました。そのネオコンが総退陣したので金融制裁の意味がなくなった。そこでライス國務長官のお墨付きをもらったケリストファー・ヒル東アジア・太平洋担当國務次官補が財務省に働きかけて金融制裁の全面撤回を発表したのでした。

しかし北朝鮮は、今までさんざんアメリカに騙されてきたと思っています。実際に現金を引き出せることが確認できるまでは信用できない」と、現在確認中です。それで核施設停止に至るまで時間がかかっているのです。

核廃棄プロセスが遅れているもう一つの理由に、北朝鮮側が米国からさらなる譲歩を引き出そうとしていることが考えられます。北朝鮮は軽水炉を提供せよと言いつつ出さず、無理だと思つたら提案を引込める。プッシュ政権はあと2年足らずで終わり、来年の11月には次の大統領が決まります。彼の任期いっぱいまでに履行すればいいと思つているでしょう。

いずれにせよ北朝鮮は核を必ず廃棄します。北朝鮮の目的は米国と交渉して、恒久平和条約

を結ぶことです。テロ支援国家の認定を解除させ、外国からの投資や人の往来ができるようにする。国交正常化の過程で、平和条約を結んで、主権国家として認めさせる。経済制裁を撤廃させるという目的がある。そのためにミサイル実験をやり、核実験を行ったわけです。

北朝鮮が北京での合意に反して寧辺（ニョンビョン）の核施設を止めなければ、国交正常化もテロ支援国家の認定も解除されない。何のために核実験し、核開発をしたのか分らなくなる。北朝鮮は核に頼らなくて済む安全保障さえあれば、核兵器を放棄します。



平壤市の中心部の金日成広場でマスゲームの稽古をする市民たち（4月15日から「アリラン祭」がはじまった）

を生き返らせて返せという理不尽な要求があるか」と怒っていました。

拉致問題に関しては、3月8日に日朝国交正常化に関する作業部会がありました。作業部会で原口幸市・日朝国交正常化交渉担当大使は、宋日昊担当大臣に対し「私は朝鮮のこと何もう分りません。安倍首相からこれを読めと言われたので読みます」と、文章を読み上げたそうです。「拉致問題の解決をあくまでも追求する。拉致された8人全員を生還、実行犯の引き渡し。拉致の指示者を含めた全貌の解明。それなくして国交正常化なし」というのが安倍内閣の立場で、日本側の要求に北朝鮮が応じるのは全く無理な話であり、交渉が決裂するのは当然です。日本政府は北朝鮮との交渉に必死の覚悟がないと言っているわけです。

今の日本は独自外交ができない構造になっています。日本は戦後、対米追随せざるを得ないように組み込まれ、今は日米軍事一体化が進んでいます。一方では排外主義的なナショナリズムが高まっています。対米ベッタリか、日本国粋主義になるか、どちらか一方しかないのが現状です。

このままでは日本政府は結局、米国の圧力によって、拉致問題に関して何らかの「政治決着」を迫られることになるでしょう。日本は今こそ長期的・大局的立場からの利益と北東アジアの平和を考えて、日朝国交正常化に向けて努力すべきです。

◆日朝関係は拉致問題をめぐって進展していません。

今回の訪朝で宋日昊（ソン・イルホ）日朝国交正常化担当大臣と会談しました。彼は「安倍政権とは一切交渉しない」と北朝鮮の立場を繰り返していました。「死亡したと発表し、金正日総書記が謝罪したのに、8人

日本はアジア外交の視点をもち

◆日朝関係は拉致問題をめぐって進展していません。

今回の訪朝で宋日昊（ソン・イルホ）日朝国交正常化担当大臣と会談しました。彼は「安倍政権とは一切交渉しない」と北朝鮮の立場を繰り返していました。「死亡したと発表し、金正日総書記が謝罪したのに、8人



宋日昊・日朝国交正常化担当大使と（右が吉田さん）

平壤外国語大学日本語科に教材を寄贈して

日朝相互理解促進のために

関係悪化の時期の訪朝

日本政府が朝鮮に対する経済制裁を6カ月延長し、日朝関係が最悪の時期を迎えていた4月4日から11日まで、対文協(対外文化連絡協会)の招待で、一行8人の代表団を率いて訪朝し、共同団長の米田伸次氏(帝

塚山学院大学国際理解研究所特支援。平壤外国語大学日本語科別顧問)があたり、日ごろからに古典・現代文学作品、教養書、時事問題の解説書など150冊を寄贈した。

ひとくちに150冊といっても、大小さまざまだが、8人全員がスーツケースいっぱいにも重畳制限ギリギリまで詰め込み、手分けして運んだ。折しも団長の私が、昨年暮、第三書館から「北朝鮮核実験に続くも」を



平壤外国語大学日本語科の学生らと交流する訪朝団

上梓したのが縁で、社長北川明氏から同社がシリーズとして出版している「大活字版全集」「サライ自叙伝」「サライ政治」など寄贈された。

「サライ龍之介」などが贈られ、好評を博した。そのほかの寄贈図書は、共同団長の米田伸次氏(帝塚山学院大学国際理解研究所特支援。平壤外国語大学日本語科別顧問)があたり、日ごろからに古典・現代文学作品、教養書、時事問題の解説書など150冊を寄贈した。

学生のための日本語教科書も最も全面的に協力した。外国人留学生のための日本語教科書も最も全面的に協力した。外国人留学生のための日本語教科書も最も全面的に協力した。

新版を一式進呈した。日本語科に限らず、同大学が外国の民間代表団からこれほど平壤外国語大学日本語科の学生らと交流する訪朝団

吉田康彦 (大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員教授)

大書院の寄贈されたのは初めてのことだ。私たちに対応した洪敬燮副学長、沈日日本語学部長は感激のしおたつた。

格下げられた日本語科

平壤外国語大学は、共和国創建翌年の1949年、ロシア語専修の大学として発足。その後、英語、中国語、フランス語、ドイツ語などが加わり、66年には日本語科も新設され、現在の22カ国語体制がととのった。

英語、中国語、ロシア語の学生が一年200人以上で学部を形成。そのほかの言語は「民族語部」として扱われ、全体で4学部からなっているが、近年はやはり英語学部希望者が断然多く、米朝国交正常化早期実現に期待をかけている空気が伝わってきた。

対照的なのが日本語科で、日朝関係悪化を反映して、このころ志望者は激減し、今年度は50人を下回った。日本語志望者が最も多かったのは93年で、230人を超えたという。90年代は毎年200人を記録。このため99年には英中口に次ぐ4番目の学部に昇格。一時は英語学部と並ぶ人気を集めたが、2002年9月の小泉訪朝を機に、皮肉なことに拉致問題が表面化して日朝関係が険悪化。志望者が次第に減り、今年度から再び民族語学部の一学科に格下げになったのだという。

私たちの訪朝を歓迎してくれ

た日本語科の5年生(朝鮮の大学は4年半で、ことし9月に卒業)6人は、異口同音に「日本語科を優先して後援している」と語っていた。日本語を選んだ動機は、「わが民族に苦難と不幸をもたらした国を徹底的に研究してみたかった」という機軸が多かったが、中には「日本語能力を磨いておきなさい」と忠告して大学を辞去した。

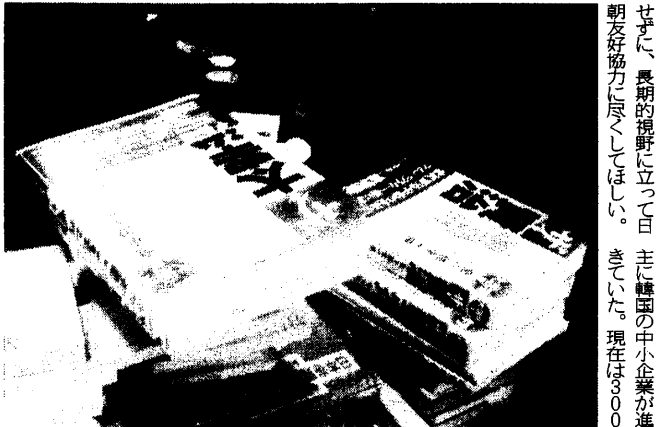
開城に次々と工場建設 一週間の滞在中、前回の訪朝で叶わなかった開城工業団地訪問が実現した。南北合弁事業と同じで、北の労働者は労働力が安く、勤勉で手先が器用なので、競争力では日本、中国に負けな

がほとんど更地だったが、見る見るうちに次々と工場が建ち、主には韓国の中企業が進出してきた。現在は300社、北

私、「国交正常化は歴史の必然だ。目先の情勢に一喜一憂せずに、長期的視野に立って日朝友好協力に尽くしてほしい。」



平壤外国語大学日本語科の授業風景



一行が寄贈した図書類

の労働者2500人が韓国の技術者、管理職400人とともに作業に従事している。服飾、日用品、製菓などの業種が主だ。私たちはロマンソンという韓国の時計メーカーの腕時計組み立て工場を見学したが、言葉が同じで、北の労働者は労働力が安く、勤勉で手先が器用なので、競争力では日本、中国に負けな

(写真は筆者提供)



宋日吳・朝日国交正常化交渉担当大使と記念撮影をする筆者(右)

【寄稿】北朝鮮訪問記 進む開城工団の建設

吉田康彦(大阪経済法科大学客員教授)

四月四日から十一日まで、八人からなる学者・ジャーナリスト・大学生の代表団を率いて訪朝した。わたしとしては、金日成主席急死直後の一九九四年以来八回目だ。その間、朝鮮はいくたびが大規模な水害に見舞

われ、慢性的な食料不足で、現金支援を二回行った。食糧不足は一時期ほど深刻ではないが、緊急の課題はインフラ建設だ。一週間の滞在中、首都ピョンヤンは停電もなく、金日成主席生誕九十五周年の「太陽節」を控えて華やかな雰囲気包ま

まいったが、地方のインフラはスタスタで、鉄道線路はさびつき、電線は垂れ下がっている。その意味で、ことし二月の六者協議の「北京宣言」は、米朝、日朝国交正常化をうたい、長期にわたる経済・エネルギー支援を約束しており、朝鮮にとって有利な内容を盛り込んでいる。期限は遅れても朝鮮が合意を履行するのは確実だ。

滞在中、接触した朝鮮の党・政府の幹部も、「約束対約束、行動対行動」という同時行動の原則を尊

重する。問題は米国側の誠意と履行の意思だ」と語っていた。今回の訪朝の主目的は、前回(二年前)の訪朝時の約束にしたがって、ピョンヤン外国語大学日本語科に日本語図書と教材を寄贈することで、八人で百五十冊以上の古典・現代文学の代表作、日本語研究の文献、外国人留学生のための教科書などをスーツケース一杯に詰めて持参し、感謝された。共同団長として参加した米田伸次氏の努力に負うところが大きい。

二年前には総面積二千万坪の敷地がほとんど更地だったが、見る見るうちに次々と工場が建ち、すでに五万坪の土地に工場が建っている。これが年内には十萬坪に広がる。進出企業も七百社に達する見込みだという。いまのところ「現代グル

「一回、寄贈した教材で日本語を磨いてくれればきつと将来役に立つ。日朝は互いに引越していけない隣国同士。長期的に取り組んでいこう」と学生たちを激励してきた。

前回の訪朝では素通りだったが、開城工業団地訪問が今回は実現した。日本人代表団が北から工業団地訪問を許されたのは初めてで、二〇〇三年十二月にオープンして以来、南北協力のシンボルとして着実に進展し、すでに韓国の中小企業三百社が進出、毎日二百人の韓国人技術者と管理職が非武装地帯を越えて、バスの専用道路を利用して通勤してきており、北朝鮮の労働者二千五百人が彼らの指導の下で働いている。

同大学日本語科は、日朝国交正常化が近いとの期待が高まった一九九〇年代に志望者が急増し、九九年に、英語、ロシア語、中国語に次いで「学部」に昇格したもの、拉致問題で日朝関係が悪化し、今年度から再び「学科」に格下げになってしま

った。「今回、寄贈した教材で日本語を磨いてくれればきつと将来役に立つ。日朝は互いに引越していけない隣国同士。長期的に取り組んでいこう」と学生たちを激励してきた。

「五年後の二〇一二年にはパイオ、電子工業、IT(情報産業)の生産拠点を中心に位置し、物流の拠点としても地の利があるところから、将来は北東アジアのシリコンバレーを目指している」と、全事業を統括している現代峨山の徐禮澤・開城事務所長は誇らしげに語っていた。その言葉を、同席している北側の関係者が大きくうなずきながら聞いていた。南北の信頼醸成は

最近締結された米韓FTA(自由貿易協定)で米側は難くせをつけ、「開城工業団地の製品を韓国製とは見なさない」と異議を唱えたが、韓国は「韓国産の域外製品」を主張して譲らなかった。「開城」は既成事実として、もはや後戻りできない段階に達している。ピョンヤン市街の「自由市場」には中国製品があふれ、中国経由で入ってくる日本製品にも事欠かない。「ピョンヤンホテル」の焼肉料理店「アリラ」の主人は、「調味料以外、日本製品は何でも手に入る。不自由はない」と語る。そこへウェイトレスがやってきて、わたしたちに聞いた。「ビールはキリン、アサヒ、サッポロ、どれにしますか」日本の経済制裁は何の効果もあげていない。在日朝鮮人に対する弾圧と迫害に利用されているだけだ。

地域のシリコンバレー目指し 朝米の変化が朝日にも影響へ

広がっている。わたしたちはロマンソンという韓国の時計メーカーの腕時計組立工場を見学した。言葉が同じで、北の労働者は勤勉で手先が器用なので、競争力では日本、中国に負けないと韓国工場長は自信をのぞかせた。韓国人労働者の平均賃金が月額三千ドルなのに対し、北は七十ドル。この格差が国際競争力の秘密兵器になっている。

滞在中、宋日吳・日朝国交正常化交渉担当大使とも旧交を温めた。彼は自信ありげに断言した。「安倍首相は、横田めぐみ氏以下、八人死亡の事実を知りながら、拉致を政治目的に利用しているが、まもなく墓穴を掘るだろう。日本を動かすのはわけない。アメリカを動かせば日本は簡単に動く」

吉田 康彦

よした・やすひこ＝大阪経済法科大アジア太
一平洋研究センター客員教授。NHK記者を経て
国運動務。86～89年I A E A広報部長。近著に
『北朝鮮核実験に続くもの』(第三書館)。



4・4・4
という数字が
ある。去年一
年間に北朝鮮
から日本を訪
れた人が4人
(すべてスポ

ーツ選手)、北朝鮮を訪問した日
本人が400人(一日平均ほぼ一
人)、その間、韓国を訪問した日
本人が400万人にのぼる。大半
が冬ソナとチャンケムに魅せられ
た中年女性だ。

北朝鮮とは国交がなく、拉致問
題で「誠意ある対応をしていない」
国で、経済制裁の対象国だから当
然とみるか、それともやはり異常
だとみるかは、その人の立場によ
る。異常でも仕方ないと思うか、
少しでも改善したいと思っで行動
するかも立場による。筆者は最後
の部類に属する。
低俗な日本のメディアは、筆者

時評

2007. 4. 23

ウェブ

8回目の訪朝で確かめたこと

に「北寄りの学者」とレッテルを
張り、誹謗中傷の標的にしている
が、全日本国民が北パッシングに
同調して思想統一に従ったら、日
本も北朝鮮並みの全体主義の国と
変わりなくなってしまうのではない
か。ある国に対する脅威は人的交
流の量に反比例する。相互理解が
進めば不信感も消え、お互いに胸
襟を開いて語り合うようになる。

の訪朝である。2年前の今回は医
薬品を携えての人道支援だった
が、今回は重量制限一杯の日本語
の図書詰め込みでの文化・教育
支援に踏み切った。

前回の訪朝で見学した平壤外国
語大学日本語科にうきな教材がな
いのを知って、国際理解教育の専
門家・米田伸次とともに図書支援
を思い立ち、関西空港出発の際の
電力事情は改善し、1週間の滞在

の小泉訪朝後、拉致問題をめぐっ
て関係悪化をきたし、志望者激減
で学科に再格下げになってしまっ
たのだという。逆に現在プームに
なっているのは英語と中国語で、
平壤でも英語が喋れると就職に有
利だという。米朝国交正常化実現
も時間の問題と見ているようだ。
平壤市街と近郊に関するかぎり
電力事情は改善し、1週間の滞在
つたという見方もある。
日本製品も豊富にある。みな中
国経由で入ってくる。平壤市街の
レストランでビールを注文する
と、キリンかアサヒかサッポロか
と訊いて来る。日本の経済制裁な
どが吹く風だ。制裁で痛手を受
けているのは親戚縁者を訪問でき
ず、仕送りもできない在日朝鮮人
だ。彼らを痛めつけても本国の政
策転換には何の影響もないことを
知るべきだ。

拉致の徹底究明を叫んで圧力一辺
倒で制裁を課している安倍内閣の
対北政策は大間違いだ。相手はま
すます対抗心を燃やして反撃して
くる。そうなれば拉致問題は永遠
に解決しない。

税関当局の嫌がらせをかいぐぐっ
て150冊の古典・現代文学の粹
を寄贈した。1966年の日本語
学科開設以来、日本から図書の寄
贈を受けたのは初めてだという。

中、停電は一度もなかった。金正
日総書記の指令で全国に小型水力
発電所を増設中だった。「将来は
軽水炉で発電したい」と社会科学
院の尹載昌博士はホンをのぞか
せた。

滞在中、非武装地帯北の開城工
業団地を見た。5年後には2千万
坪の敷地に韓国企業2千社が進出
して北朝鮮の労働者10万人を雇
用、年額200億円の精密機械類
を送り出す予定で、「北東アジア
のシリコンバレー」にしてみせる」
と推進役の現代峨山の開城駐在所
長・徐礼澤氏は胸を張った。南北
協力はすでに後戻りできない点ま
で進んでいることは疑いない。

というわけで、今月、日本の大
学生3人を含む、学者、ジャーナ
リストら8人を率いて北朝鮮を訪
問してきた。過去14年間で8回目

朝団が日朝国交正常化に道筋をつ
け、日本語プームに火がついて、
1度は平壤外国語大学の日本語学
科が学部昇格したもの、02年

公営の「自由市場」には中国製
品が溢れ、中国人観光客とビジネ
スマンが街を闊歩している。北朝
鮮全土が中国の東北部の一省にな